

2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月10日

上場会社名 株式会社アビスト 上場取引所 東  
 コード番号 6087 URL https://www.abist.co.jp  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 進 顕  
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役（氏名） 丸山 範和（TEL）0422-26-5960  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2023年9月期第2四半期の業績（2022年10月1日～2023年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	4,697	—	397	—	406	—	476	—
2022年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2023年9月期第2四半期	119	79	—	—				
2022年9月期第2四半期	—	—	—	—				

（注）当社は2022年9月期は連結業績を開示しておりましたが、2023年第2四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2022年9月期第2四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	9,034	6,574	72.8
2022年9月期	8,359	6,142	73.5

（参考）自己資本 2023年9月期第2四半期 6,574百万円 2022年9月期 6,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年9月期	—	0.00	—	102.00	102.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—	—
2023年9月期（予想）	—	—	—	102.00	102.00	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,900	—	740	—	740	—	610	—	153	28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は2023年2月1日付で連結子会社である株式会社アビストH&Fを吸収合併いたしました。当合併により連結子会社がなくなることから、2023年9月期（通期）は個別決算による開示となりますが、業績予想の対前期増減率は比較対象が異なるため記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期2Q	3,980,000株	2022年9月期	3,980,000株
2023年9月期2Q	377株	2022年9月期	377株
2023年9月期2Q	3,979,623株	2022年9月期2Q	3,979,642株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信【添付資料】1ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(収益認識関係)	6
(重要な後発事象)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における世界経済は、一時的に落ち着きを取り戻した兆候が見られたものの、先行きについてはウクライナ情勢等の地政学的リスク、インフレ率の高止まりと政策金利の急速な引き上げに伴う金融部門の混乱を受け、不透明感が増しています。

我が国経済においては一部に弱さが見られるものの、緩やかに持ち直しています。先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあり、景気が持ち直していくことが期待されます。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社が主力事業を展開する自動車業界及び自動車部品業界においては、半導体等の部品需給の逼迫による生産調整の動きがみられるものの、脱炭素化に向けた世界的な流れは持続しており、次世代技術の開発に向けて研究開発の歩みは益々加速していくものとみられます。当社が主力とする設計開発アウトソーシング事業は生産の上流工程であるため、自動車メーカーの工場稼働停止や減産が、契約解除等の直接的な影響は少ないものとみておりますが、新型コロナウイルス感染症流行前の稼働工数への回復にはやや時間を要することが予想されます。また、海外景気の減速が深刻化した際などには業績に影響を及ぼす可能性もあるため、引き続き、業界の動向に注視する必要があります。

以上のような事業環境のもと、当社は主力事業である設計開発アウトソーシング事業を始めとして、積極的な事業推進に励んでまいりました。その結果、当第2四半期累計期間における当社の売上高は46億97百万円、営業利益は3億97百万円、経常利益は4億6百万円、四半期純利益は4億76百万円となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①設計開発アウトソーシング事業

当セグメントにおきましては、売上高は46億12百万円となり、セグメント利益（営業利益）は8億59百万円、セグメント利益（営業利益）率18.6%となりました。主に派遣において受注量が増加したことと、若手技術者を含めた技術者稼働率の向上により、売上利益に貢献しました。

#### ②3Dプリント事業

当セグメントにおきましては、主要顧客における受注遅れが発生した結果、売上高は42百万円となり、セグメント損失（営業損失）は14百万円となりました。

#### ③美容・健康商品製造販売事業

当セグメントにおきましては、OEM製品の受注減少の影響により、売上高は11百万円、セグメント損失（営業損失）は2百万円となりました。

#### ④不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、賃貸物件は引き続き高稼働した一方で、水道光熱費など経費が増加したことにより、売上高は30百万円となり、セグメント利益（営業利益）は11百万円、セグメント利益（営業利益）率37.2%となりました。

なお、前第2四半期連結累計期間は四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較は行っておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は90億34百万円となり、前事業年度末に比べ6億74百万円の増加となりました。これは、主に投資その他の資産の増加によるものです。負債合計は24億59百万円となり、前事業年度末に比べ2億41百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加によるものです。純資産合計は65億74百万円となり、主にその他有価証券評価差額金の増加により前事業年度末に比べ4億32百万円の増加となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結子会社アビストH&Fの吸収合併に伴い、2022年11月9日に発表しました2023年9月期連結業績予想の数値を個別の業績予想とさせていただきます。2023年5月10日開示「2023年9月期第2四半期累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ」の通り、業績の上振れ要因はございますが、その影響は業績予想段階利益の30%未満であると見込んでいること、連結子会社吸収合併にて継承した繰越欠損金による税額減額効果は通期においては第2四半期よりも減少することを勘案し、2023年9月通期業績予想の修正は行いません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,824,758	4,071,792
売掛金	1,339,707	1,309,583
仕掛品	36,903	55,320
原材料及び貯蔵品	16,286	27,722
前払費用	110,198	82,184
その他	55,628	56,105
流動資産合計	5,383,483	5,602,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	889,926	1,003,675
土地	941,587	1,030,745
その他（純額）	29,759	30,491
有形固定資産合計	1,861,273	2,064,913
無形固定資産	198,915	160,872
投資その他の資産	916,287	1,205,819
固定資産合計	2,976,476	3,431,605
資産合計	8,359,959	9,034,314
負債の部		
流動負債		
短期借入金	50,000	250,000
未払金	561,358	584,400
未払法人税等	183,405	120,815
賞与引当金	350,008	360,273
株主優待引当金	27,135	41,817
その他	182,129	171,640
流動負債合計	1,354,036	1,528,946
固定負債		
退職給付引当金	529,593	562,417
役員退職慰労引当金	282,282	301,459
その他	51,615	66,537
固定負債合計	863,490	930,414
負債合計	2,217,527	2,459,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,026,650	1,026,650
資本剰余金	1,016,650	1,016,650
利益剰余金	4,100,309	4,171,105
自己株式	△1,176	△1,176
株主資本合計	6,142,432	6,213,229
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	-	361,725
評価・換算差額等合計	-	361,725
純資産合計	6,142,432	6,574,954
負債純資産合計	8,359,959	9,034,314

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)
売上高	4,697,085
売上原価	3,467,870
売上総利益	1,229,214
販売費及び一般管理費	831,402
営業利益	397,812
営業外収益	
受取利息	236
受取手数料	310
助成金収入	1,301
受取補償金	6,992
営業外収益合計	8,841
営業外費用	
支払利息	141
営業外費用合計	141
経常利益	406,511
特別利益	
固定資産売却益	16,346
特別利益合計	16,346
特別損失	
抱合せ株式消滅差損	11,008
特別損失合計	11,008
税引前四半期純利益	411,849
法人税、住民税及び事業税	94,531
法人税等調整額	△159,400
法人税等合計	△64,868
四半期純利益	476,718

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	411,849
減価償却費	65,189
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,458
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	14,681
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	32,823
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	19,177
受取利息及び受取配当金	△236
助成金収入	△1,301
支払利息	141
固定資産除売却損益 (△は益)	△16,346
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	11,008
売上債権の増減額 (△は増加)	34,927
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△16,264
前払費用の増減額 (△は増加)	29,243
未払金の増減額 (△は減少)	3,163
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△16,893
その他	4,997
小計	586,620
利息及び配当金の受取額	236
利息の支払額	△147
助成金の受取額	1,301
法人税等の支払額	△153,907
営業活動によるキャッシュ・フロー	434,103
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△11,523
無形固定資産の取得による支出	△929
貸付金の回収による収入	3,031
敷金及び保証金の差入による支出	△1,062
敷金及び保証金の回収による収入	5,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,272
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△594
配当金の支払額	△405,674
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206,268
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	222,563
現金及び現金同等物の期首残高	3,824,758
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	24,471
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,071,792

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 当第2四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額
	設計開発 アウトソー シング事業	3Dプリント 事業	美容・健康 商品製造 販売事業	不動産 賃貸事業			
売上高							
外部顧客への売上高	4,612,881	42,440	11,292	30,471	4,697,085	—	4,697,085
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	33	—	33	△33	—
計	4,612,881	42,440	11,325	30,471	4,697,118	△33	4,697,085
セグメント利益又は損失 (△)	859,786	△14,869	△2,335	11,326	853,908	△456,095	397,812

(注)1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△456,095千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第2四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	設計開発 アウトソー シング事業	3Dプリント 事業	美容・健康商 品製造 販売事業	不動産賃貸 事業	
請負契約	2,627,294	—	—	—	2,627,294
派遣契約	1,957,406	—	—	—	1,957,406
その他	28,179	42,440	11,292	—	81,912
顧客との契約から生じる収益	4,612,881	42,440	11,292	—	4,666,613
その他の収益	—	—	—	30,471	30,471
外部顧客への売上高	4,612,881	42,440	11,292	30,471	4,697,085

(注) その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入が含まれております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。